会　報

2020～2021 ＲＩ第2720地区

人吉ロータリークラブ

通 算 ３０６５ 回
2020年10月16日
第 ５ 回 例 会

ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度 ＲＩ会長
ホルガー・クナーク

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ　フェイスブックページ　[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2020～2021年度 人吉ロータリークラブテーマ

この仕合せ(めぐり合わせ、運命)に感謝し、より豊かな人生の扉を拓こう」

本日の進行

点　鐘	委嘱状贈呈式
国歌斉唱	結婚誕生祝い
ロータリーソング斉唱	Rの友10月号紹介
会長の時間	米山月間
幹事報告	米山委員長卓話
出席率報告	寄付カード
会務報告	点　鐘

開催場所：人吉球磨自動車会館（ＺＯＯＭ）

点　鐘　　葉山稔洋 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 冨永啓太委員

国 歌　「君が代」
ＲＳ　「それでこそロータリー」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　竹長一幸委員長

会長の時間

会長　葉山稔洋

皆さんこんにちは、先週はお休みでしたが、間違えてこの例会場におこし頂いたとか無かったでしょうか？ZOOMで参加の方々も今日は映らんとか機械の調子が悪いとか思われたりとか無かったでしょうか？

今日は、先週８日のガバナー公式面談の日のことをお話させて頂きます。B&Sみやざきに私と北幹事、石蔵エレクトそして緒方事務局員の４名で乗り込み、今はやりのGOTOトラベルを利用していざ熊本へ出発しました。　ナント往復のバス・新幹線・昼食代金迄含んで4,500円位でした。新型コロナウイルスの事はありますが いつもなら行かない高級な旅を楽しむのもこの様な時かなと思いながらも「なりわい再生」の事等考えると頭が痛くなり旅どころでは無いのかなと現実に帰ってしまいます。余裕のある方は、この機会に奥様や家族孝行を是非計画してみては、如何でしょうか。

話はかわりますが、何だかんだと出張の多い直ちゃんが九州新幹線に初めて乗ったと話が弾んでいたらあっという間に熊本駅に到着し、ちょっと早めの昼食を取り、隣接するザ・ニューホテルに向かいました。

ガバナー面談の前に福岡城南RCから芦北と中央そして人吉RCにそれぞれ100万円の支援金を頂きました。よくよくお話を聞いてみると、会員のある方が、昭和29年の白川水害の時、当時幼少期に被災し、温かいおにぎりを食べさせて頂いたその時の恩返しをしたいとの「感謝の気持ち」をなんのゆかりもない、芦北や人吉に頂き、眼がしらが熱くなった次第でした。

メインのガバナー面談では、災害後「理事会及び災害支援対策会議」を４回実施した事や、キッチンカーでの炊き出しが１万食を越えた事、９月の18日から例会を再開した事、9/25と10/2の２回の例会で各委員会の方針・計画の見直した「栞」を仕上げて提出したことに感心しておられました。特に３年に１度の規定審議会での変更点などしっかりと定款、細則の細部まで反映されているとお褒めの言葉を頂きました。水野副会長のお陰で鼻高々でした。この場をお借りし、感謝と御礼を申し上げます。

またちょっと違った意味で、環境保全委員会と地域発展委員会の設置に興味を示されておりました。我々の環境保全は、地域に根差した地元の環境問題でガバナーの考える環境保全は、グローバルで世界的な事でしたが、そこはそれで地域密着型という事でなんの指摘も何も無く無事に予定時間を20分くらいオーバーして次の多良木RCと交代しました。ガバナーアドレスのDVDを預かって参りましたので、早い時期に機会を作り皆で視聴した

いと考えております。また、必ずクラブを訪問しますとも伝言を預かってきました。
　その後、親クラブでもあります熊本RCの秋岡会長から支援金を頂き、ちょっとだけ４人で慰労会をし、帰途に着きました。
　来週23日の例会は、先程お話をしました環境保全委員会の担当例会で早朝例会となっております。ロータリーの森も歴史資料館も仮設住宅建設で立ち入り禁止の為、武末先生の庭先の蓮池の草取を行います。皆さんよろしくお願い致します。
以上会長の時間を終わりたいところですが、訃報です。残念な事に伊久美寛志パスト会長が御逝去されました。

幹事報告

前々幹事　新堀純子

≪理事会承認事項（10/14持ち回り）≫
・11/6の例会を職場訪問例会とする。（ﾊﾞｽ移動）
　見学場所；人吉市災害廃棄物仮置き場
　　（人吉中核工業用地）
・11/27の例会を「家族で楽しむ秋のワイン会」とする。

≪連絡事項≫
・ガバナーより2019-2020年度地区資金監査終了の報告（回覧）
・11/8（日）社会奉仕・国際奉仕・公共イメージ合同セミナー；参加対象者のZOOM用アドレスは登録済です。（ZOOM開催DVDを対象者および希望者へ配布する予定です。
・第18回ひとよし温泉春風マラソンは中止。

○地区内クラブ例会のお知らせ
・熊本西南RC　10/15取止め ﾘｽｸﾚﾍﾞﾙ4特別警報による
・西天草RC　10/19取止め　〃
・熊本城東RC　10/26取止め　〃
・熊本東南RC　10/28取止め　〃
・八代東RC　11/12・11/19はウェブ例会、
　11/5・11/26は取止め

出席率報告

委員　鳥井正徳

現　会　員　数	52名	出席免除会員数	1名
欠　席　者　数	19名	本日の出席率	
出　席　者　数	32名	62.75%	
免除会員出席数	0名		

＊届け出欠席　青木・浅野・後藤・春木・堀川・伊久美早
　岩下・岩井・片岡・北・中村・延岡・大久保
　岡・尾上・友永・戸高・外山・堤正
＊出席免除会員　(b) 愛甲
＊メークップ期間は年度内(7/1～6/30 迄)になります。

会務報告

【環境保全委員会】　社会奉仕担当理事　有馬宏昭

早朝（清掃）例会案内
１０月２３日（金）
清掃場所；　青井阿蘇神社お堀～武末歯科周辺
時　　間；　清掃6:30～　例会7:00～7:30
準 備 物；軍手･竹ホウキ･草刈り草取り道具

【親睦委員会】　運営委員長　新堀純子
ゴルフ愛好会
総会並びに葉山会長杯第１戦案内
１０月２４日（土）
○ 葉山会長杯 第１戦
　球磨カントリー倶楽部 9:34スタート
○ ゴルフ愛好会 総会
　相良藩「田」 18:30開会

【次年度】
中川貴夫会員へ
国際ロータリー第2720地区
2021-2022年度
地区研修委員会副委員長を
委嘱致します。

国際ロータリー第2720地区
ガバナーエレクト　大森克磨

【親睦委員会】　委員長　新堀純子

10月の結婚祝い	
松山 茂人会員　8日	冨永 啓太会員　10日
石蔵 尚之会員　13日	春木　顕会員　13日
川越 公弘会員　15日	中島 博之会員　17日
平田 フク会員　17日	後藤 竜一会員　21日
岩下 幸司会員　26日	
10月の誕生祝い	
漆野 智康会員　14日	浅野　強会員　30日

【雑誌委員会】
ロータリーの友10月号の紹介
委員長 尾上暢浩

今月のロータリーの友には、コロナ禍での自然災害　各地からの思いをつなぐ」と題して、当地区７月熊本豪雨被災地でのロータリー支援活動が特集

されています。
　最初に大きく、左から当クラブ中川会員、硯川ガバナー、田中地区幹事の写真です。
　コロナ禍で人的支援が制限される中、地区内外と地元クラブ連携による的確な物資供給の様子などが書かれています。

　次に人吉ＲＣ命のキッチンカーが載っています。災害発生の４日後には本田節会員によりキッチンカーが稼働、被災地中心部に温かい食事、冷たい飲み物を届けました。キッチンカーでの活動が知られるようになったため今回たくさんの支援物資を送ってくださり、炊き出しの手伝いをしてくれています。繰り返してきた経験があったからこそ災害から４日後にキッチンカーを走らせることが出来ました。「まずはロータリアンが元気にならなければ」という葉山会長の思いを受けて、送られてくる支援物資を配り、ごみを回収する事業も実施しました。
　何年も繰り返し行われるキッチンカー活動で、多くの人から信頼と期待を得ていることを強く感じました。

【米山記念奨学委員会】　　副委員長　中島博之

米山月間卓話

○米山梅吉物語（マンガ版）を紹介

○米山記念奨学事業

米山奨学事業は日本最初の東京RCの創立に奔走し、数々の功績･業績を残した米山梅吉氏を記念して1952年（昭27年）（人吉RCは昭32年創立）に東京クラブが単独事業で募金を始めました。米山梅吉氏が生前東南アジアに深い関心を持っていたことからアジア諸国から奨学生を招致しようというのが基金設立の目的でした。
２年後にはタイ国から、第１号奨学生となるソムチャード氏を招へいし、東京大学で養蚕学を研究。帰国後はタイシルクの増産に貢献。タイシルクを世界に広めています。５年後には全国のロータリークラブが共同参加し、新組織・ロータリー米山奨学委員会を結成。奨学生８名を採用。
翌年1971年（昭46年）世話クラブ制度設置。
2020年度の奨学生は883人、事業費は14億6千万円
累計奨学生は21,624人　出身国は129ヵ国
日本ロータリー独自の世界に誇れる事業です。
公益財団法人米山記念奨学会は、勉学･研究の為に日本に在留している私費外国人留学生に対して日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

米山記念奨学会事業のシンボルマークです。重なり合うハートはロータリアンと奨学生です。当事業がロータリアンの手で支えられている事を表しています。

日本ロータリーは10月を米山月間と定めて、米山記念奨学会を更に充実させ日本で学ぶ多くの留学生を支援して留学生母国と世界平和と国際親善に貢献できるように育成・支援して「かけ橋」となる事をロータリーが目指す目的にしています

私たちも米山奨学会へ寄付します。
　一人　前期：2,000円
　　後期：2,000円
100万＄食事から一人1,000円
　　合計6,000円と、
　米山カード（ニコニコカード時）で頂いた分
　米山に特別寄付していただいた分

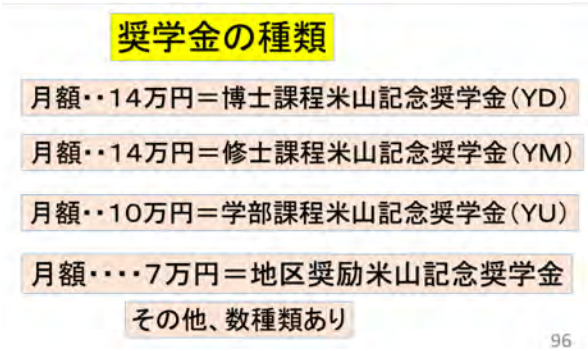
○人吉ＲＣ奨学生招待事業・世話クラブ事業
招待事業第１回目は山田勝彦会長 右田秀世幹事 高嶋康二米山委員長の時、1992年(平4)10月23～24日1泊2日の招待でした。
第10回（平15年）まで1泊2日でしたが第11回から学生側の事情で日帰りとなりました。これまでは大学の所在地にあるロータリークラブが奨学生の世話クラブとなっていましたが、2012年（平24年）人吉ＲＣ第19回目に大学所在地以外のＲＣが世話クラブになったのは人吉クラブが最初と聞いています。それは、交通機関の発達で容易に日帰りできるようになったから世話クラブを認められたのでしょう。今では人吉中央ＲＣ、多良木ＲＣなども世話クラブとして頑張っておられます。

人吉ＲＣとして第１回目の世話クラブは2012年（平24年）第19回目の山賀勝彦会長 浅野 強幹事 片岡啓一米山委員長の時、奨学生はブ・ゴク・チェン君（崇城大学）（国籍ベトナム）でした。卒業後は、日本で就職しましたが現在はベトナムに帰り、日本への留学生のお世話をしていると聞いています。米山奨学会の目的である
両国の懸け橋となる。お世話したチェン君が米山をしっかり理解し活躍していることに誇りを感じますね！！
第２回目の世話クラブは2012年（平24年）
中国遼寧省大連出身 王辰寧さん（ももちゃん）でした。杭州師範大学外国語学院の大学院で日本語を研究。修士２年生の時交換留学生として初めて熊本に来ました。
熊本大学院：博士課程社会科学」人間社会科学

2015年４月博士後期課程に進学するため再び熊本へ、2017年4月～2018年3月奨学生となり、人吉ＲＣが世話クラブとなりました。

〇世界の平和を願って　なぜ留学生支援なのか？
世界平和を願い、それをアジアに、そして世界に理解してもらうには、一人でも多くの留学生を迎え入れ平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く事　それが日本ロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか？
事業創設の背景には、これがあったと思います。
事業創設から60年余の歳月がながれましたが
民間外交として「世界に平和の種子を蒔く」という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。その使命は、ますます重要性を増しているのではないでしょうか。留学生への支援は未来に向かって平和の懸け橋となる尊い奉仕なのです。
米山梅吉氏が生前、東南アジアに深い関心を持っていたことからR財団の国際奨学制度に模してアジア諸国から奨学生を招致しようというのが、基金設立の目的でした。

〇世話クラブとカウンセラー
世話クラブには(年、４万５千円の補助金あり)
現在国内には、2,300余のクラブがあります。
その内１つのクラブが、一人の奨学生の「世話クラブ」となります。選ばれた米山奨学生は世話クラブの例会に月に１度は出席し、ロータリー会員と積極的に交流して相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を学びます。
（世話クラブで行われること）
・米山奨学生は月に１回は例会に出席
・奨学金を受け取り
・スピーチその他、親睦活動・奉仕活動へ参加
カウンセラーとは奨学生一人に対し、世話クラブの中から一人がカウンセラーとなります。
奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。



〇2720地区（大分・熊本）
2021年は19名の奨学生を採用しています。毎年の財源次第です。奨学生は地区内の大学で学んでいます。最初の台湾の奨学生は、米山の理想とする目的に応え、帰国して両国の懸け橋となり奨学生時の希望を叶えて今では、逆に日本の学生を自国（台湾）に留学させるまでになっています。
公益財団法人として米山記念奨学会が発足して60年でこの様な成果を見届けることが出来ました。この様な成果を出せる国が増える事を願っています。

【寄付カード】
〈ニコニコ箱委員会〉
・**大賀会員**　水泳をしている子供達も元気に頑張っています。これから先も元気を出してみんなで頑張りましょう。　10,000
・**葉山会長**　中島会員、卓話ありがとうございました。　1,000
〈Ｒ財団委員会〉
・**中川会員**　ロータリーの友に、おじさん３人で掲載されましたので寄附致します。　2,000

点 鐘　　葉山稔洋 会長